

## 日本光学会第 205 回幹事会

日 時： 2014 年 11 月 28 日(金) 14:00~17:10

場 所： 機会振興会館地下 3 階 B3-2 会議室

参加者： 梅田幹事長, 他 29 名

議 事：

### 1. 2014 年度第 1 回常任幹事会議事録の確認

- ・ 議事録が承認された。

### 2. 報告事項

#### 2-1. 「光学」関連報告

- ・ 現時点での予算執行率が 67.8%であり, 例年よりも低い執行率で問題ないことが報告された。来年 1 月からの「光学」については, 現在, 投稿規定改訂などの審議を行っている。

#### 2-2. 「Optical Review」関連報告

- ・ 予定していた特集号の招待論文は予定通り発行する。Optical Review は引き続き投稿を受け付けており, 審査中の論文は 50 件程度が残っているが, これは新学会から発行される Optical Review に引き継がれる。

### 3. 講演会関連報告

#### 3-1. Optics & Photonics Japan 2014 開催報告

- ・ 2014 年 11 月 5 日~7 日に開催され, 300 件の講演, 600 名を超える参加者があった。
- ・ OPJ 2015 は 2015 年 11 月 4 日~6 日に予定され, SPIE とのジョイントセッションなどが予定されている。

#### 3-2. 冬期講習会進捗報告

- ・ 2015 年 1 月 22 日から 2 日間を予定している。新学会発足後なので, 一般社団法人日本光学会が主催, 応用物理学会は共催となることが報告された。

#### 3-3. 第 11 回日本光学会北海道地区合同学術講演会進捗報告

- ・ 2015 年 1 月 9 日から 2 日間を予定している。現在 47 件の申し込みがあり, 今後も増える見通しであることが報告された。

#### 3-4. 光学シンポジウム報告

- ・ 6 月に行われた光学シンポジウムでのアンケート結果が報告された。次年度は 2015 年 6 月 18 日もしくは 6 月 25 日からの 2 日間を予定している。新法人移行後は一般社団法人日本光学会で実施する。

### 4. その他報告事項

#### 4-1. 収支計算書について

- ・ 2014 年 1 月 1 日から 10 月 31 日までの収支報告があつ

た。「Optical Review」の論文数増加による収入増やホームページ委託費の削減があり, 黒字で推移していることが報告された。

#### 4-2. 協賛報告

- ・ 14 件の協賛承諾があったことが報告された。ほぼ例年通りとなっている。

#### 4-3. 光学論文賞報告

- ・ 光学論文賞に 2 件の受賞者が決まったことが報告された。一般社団法人日本光学会への移行後は光学シンポジウム場で授賞式が行われる。

#### 4-4. 光みらい奨励金(コニカミノルタ科学技術振興財団賞)報告

- ・ 12 件の応募があり, 光みらい若手奨励金 1 件, 光みらい学生奨励金 4 件が決定したことが報告された。授賞式は光学シンポジウムで実施予定となっている。

### 5. フォトニクス分科会進捗報告

- ・ フォトニクス分科会は 10 月 8 日の応用物理学会理事会で承認された。今後は準備会が設立され, 内規, 活動計画や幹事会メンバーの暫定案を作成予定であることが報告された。また, 2015 年が国際光年なので, 日本光学会と共催でイベントを開催する予定である。

### 6. 一般社団法人日本光学会進捗報告

- ・ 一般社団法人日本光学会の理事および委員名簿案が提示された。

### 7. 質疑応答

- ・ 次年度以降の OPJ での参加資格が日本光学会, 応用物理学会会員のいずれかであれば参加可能かは, まだ検討中である。
- ・ 応用物理学会春季学術講演会は, 応用物理学会会員のみが参加できる。
- ・ 新法人の幹事会の運営方法について質疑があった。理事会は年 2 回を予定, 幹事会は未定となっている。
- ・ 新法人の事務局について質疑があった。非常勤 1 名が事務局に所属している。2015 年 4 月から板橋区役所内に事務局が設置され, 事務局長と非常勤 1 名が所属の予定となっている。
- ・ 委員名簿の任期について質疑があった。委員の任期は 2 年を予定しているが, 現幹事は 1 年が任期の予定となっている。
- ・ OSA, EOS との MOU については現在進行中との回答があった。

## 8. その他

- ・第48回光学五学会関西支部連合講演会は12月10日に開催予定だったが、2月28日に変更になった。
- ・今後のOPJについては、大学の施設を利用することで会場費を削減することが報告された。
- ・「光学」については経費を節約できているので今後も紙媒体を維持できることが報告された。
- ・「Optical Review」はインパクトファクターの向上と経費削減のため、今後完全に電子媒体へ移行される。投稿システムなどはシュプリンガーへ業務委託する。電子媒体になったときの掲載料は論文あたりの単価となる。紙媒体、別刷の希望者はシュプリンガーへ直接依頼してもらう。
- ・新「光学」「Optical Review」は、ともに巻・号を引き継ぐ予定となっている。
- ・1月に日本光学会設立記念シンポジウムを行う予定であることが報告された。

最後に、梅田幹事長より幹事の皆様に対してこれまでの活動に対するお礼と、現幹事会での最後の挨拶があった。

## 第40回光学シンポジウム講演募集「光学システム・光学素子の設計、製作、評価を中心として」

主 催： 一般社団法人日本光学会

共 催： 公益社団法人応用物理学会

期 日： 2015年6月25日(木)、26日(金)

場 所： 東京大学生産技術研究所 An 棟コンベンションホール (東京都目黒区駒場4-6-1)

詳細は本号裏表紙掲載のご案内、またはホームページ [http://myOSJ.or.jp/event2/opt\\_symp](http://myOSJ.or.jp/event2/opt_symp) をごらんください。

## 第135回微小光学研究会「微小光学を拓く数学：予測・復元・逆問題へのアプローチ」

近年の光学分野では、レンズ設計、光導波路設計、光信号の復調・歪補償、光医療計測、高解像度映像など、さまざまな場面で高度な数学が活用されています。今回はこれらの基礎方程式、アルゴリズム、デジタル信号処理などについて専門家に解説していただきます。日頃ハードウェアに隠れて目立たない秘技を知ること、光学の研究が加速するかもしれません。

日 時： 2015年3月5日(金) 10:00~17:10

場 所： 上智大学四ツ谷キャンパス 11号館311号室  
(〒102-8554 東京都千代田区紀尾井町7-1)

主 催： 公益社団法人応用物理学会微小光学研究会

問合せ先： 上智大学理工学部情報理工学科 高橋 浩

電話 03-3238-3419

E-mail [hiroshi.takahashi@sophia.ac.jp](mailto:hiroshi.takahashi@sophia.ac.jp)

ホームページ <http://www.comemoc.com/>

### 日本光学会 news の掲載申込先：

〒400-8511 甲府市武田4-3-11 山梨大学工学部情報メカトロニクス工学科 金 蓮花

電話 / Fax 055-220-8448 E-mail [lianhua@yamanashi.ac.jp](mailto:lianhua@yamanashi.ac.jp)

なお、掲載申込は原則として発行日(10日)から2か月前の15日まで、開催日が1~10日の場合は、開催日の3か月前の15日までをお願いします。

掲載にあたっては、「日本光学会 news」の掲載基準を日本光学会ホームページでご確認ください。